



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月5日

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所 東
コード番号 2816 URL <https://www.daisho.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 俊一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 三浦 和信（TEL）092-611-9340
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	12,153	4.3	398	35.3	420	40.1	294	45.6
2024年3月期中間期	11,650	6.3	294	4.8	299	4.4	202	12.4
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
2025年3月期中間期	円 銭 30.51		円 銭 —					
2024年3月期中間期	円 銭 20.95		円 銭 —					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	18,487	9,728	52.6
2024年3月期	16,393	9,538	58.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 9,728百万円 2024年3月期 9,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2025年3月期	—	9.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	3.3	740	△16.9	730	△19.0	460	△23.2	47.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	9,868,800株	2024年3月期	9,868,800株
2025年3月期中間期	216,088株	2024年3月期	216,088株
2025年3月期中間期	9,652,712株	2024年3月期中間期	9,652,712株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 中間財務諸表	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境が改善するなか景気は緩やかに回復してきたものの、国際的な天候不順や長期化する地政学リスクによる原材料価格等のコスト上昇は国内経済に与える影響として懸念され、依然として先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、上昇しつづける原材料価格や労働コスト、物流費へ対応するために、多様化する調理スタイルに合わせた製品や高付加価値製品の開発など、利益獲得への動きがより進みました。

このような状況のもと、当社は、2025年3月期までの中期経営計画の最終年度にあたり、次世代を切り開くダイショーらしさを確立し、企業価値の向上をめざして、成長を持続させてまいります。特に今期は、「ビジョンの追求」「ベースアップ実施」「体制変更」「予算達成」の4項目を重点課題とし、当社固有の存在価値を磨き上げ、さらなる飛躍を目指してまいります。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群の小売用製品においては、キーマカレーなどの人気メニューが簡単に調理できる製品や有名中華シェフとのコラボ製品などの新製品が堅調に推移するなか、当社一番人気の焼肉のたれ『秘伝 焼肉のたれ』に粒感の大きいにんにくを配合するなど“にんにく感”に特化した『秘伝 焼肉のたれ にんにく5倍』が売上を牽引しました。鍋スープ類では、厳しい残暑が続くなか、「名店監修」シリーズとしてあらたに投入した『名店監修鍋スープらぁ 麵飯田商店鶏だし醤油味』や人気ドラマ「孤独のグルメ」の劇場版とのコラボ製品が好調な滑り出しとなりました。業務用製品では、彩り良いねぎを加えた『炭火焼風 ねぎ塩ソース』を中心に多様なフレーバーで展開しているオイルソース類や惣菜向けのソースなどの売上が増加しました。この結果、売上高は87億32百万円(前年同期比104.3%)となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品の『味・塩こしょう』シリーズが堅調に推移しました。業務用製品においては、惣菜向けのスパイス類が好調に推移しました。この結果、売上高は22億7百万円(前年同期比105.2%)となりました。

その他調味料群においては、小売用製品では「スープはるさめ」の定番製品が売上を伸ばし、業務用製品も好調に推移しました。この結果、売上高は12億13百万円(前年同期比103.0%)となりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は、121億53百万円(前年同期比104.3%)となりました。利益につきましては、営業利益は3億98百万円(前年同期比135.3%)、経常利益は4億20百万円(前年同期比140.1%)、中間純利益は2億94百万円(前年同期比145.6%)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ20億93百万円増加し、184億87百万円となりました。固定資産が総資産の53.4%を占め、流動資産は総資産の46.6%を占めております。資産の変動は、主に「建設仮勘定」が19億65百万円、「商品及び製品」が7億3百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が6億46百万円減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末に比べ19億3百万円増加し、87億58百万円となりました。流動負債が負債合計の82.0%を占め、固定負債は負債合計の18.0%を占めております。負債の変動は、主に「短期借入金」が20億円、「買掛金」が4億85百万円それぞれ増加し、「長期未払金」が2億8百万円、「未払法人税等」が1億2百万円、「未払金」が99百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ1億90百万円増加し、97億28百万円となりました。純資産の変動は、主に剰余金の配当86百万円の支出と中間純利益2億94百万円の計上により「利益剰余金」が2億7百万円増加したことによるものです。自己資本比率は52.6%となり、前事業年度末に比べ5.6ポイント下降しました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、18億79百万円となり、前事業年度末に比べ6億46百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間純利益4億18百万円、仕入債務の増加額4億85百万円、減価償却費3億33百万円等による資金の増加と、棚卸資産の増加額7億80百万円、法人税等の支払額2億23百万円、長期未払金の減少額2億8百万円、売上債権の増加額1億89百万円等による資金の減少により、前年同期比6億89百万円収入増の3億73百万円の純支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出21億11百万円等による資金の減少により、前年同期比で18億90百万円支出増の20億64百万円の純支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金20億円の借入とリース債務の返済1億21百万円、配当金の支払86百万円の支出により、前年同期比で14億1百万円収入増の17億92百万円の純収入となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「業績予想の修正に関するお知らせ」(2024年10月28日に公表)において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰り延べる方法を採用しております。

②税金費用の計算

当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,526	1,879
受取手形及び売掛金	3,970	4,160
商品及び製品	1,233	1,937
原材料	462	539
その他	91	106
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	8,277	8,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,317	2,244
土地	2,801	2,801
リース資産(純額)	693	646
建設仮勘定	22	1,988
その他(純額)	930	899
有形固定資産合計	6,765	8,579
無形固定資産	53	38
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,299	1,254
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	1,296	1,253
固定資産合計	8,115	9,871
資産合計	16,393	18,487

(単位:百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,235	2,720
短期借入金	—	2,000
未払金	1,481	1,381
未払法人税等	277	175
賞与引当金	461	487
その他	553	420
流動負債合計	5,008	7,185
固定負債		
退職給付引当金	548	545
長期未払金	703	495
その他	595	531
固定負債合計	1,846	1,572
負債合計	6,855	8,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	8,304	8,512
自己株式	△114	△114
株主資本合計	9,440	9,648
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	80
評価・換算差額等合計	97	80
純資産合計	9,538	9,728
負債純資産合計	16,393	18,487

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	11,650	12,153
売上原価	7,116	7,487
売上総利益	4,534	4,666
販売費及び一般管理費	4,239	4,268
営業利益	294	398
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2	3
不動産賃貸料	3	3
保険解約返戻金	—	21
その他	7	5
営業外収益合計	13	33
営業外費用		
支払利息	8	11
その他	0	0
営業外費用合計	8	12
経常利益	299	420
特別損失		
固定資産除売却損	3	1
特別損失合計	3	1
税引前中間純利益	296	418
法人税、住民税及び事業税	94	124
法人税等合計	94	124
中間純利益	202	294

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	296	418
減価償却費	339	333
賞与引当金の増減額(△は減少)	40	26
売上債権の増減額(△は増加)	△1,714	△189
棚卸資産の増減額(△は増加)	△829	△780
仕入債務の増減額(△は減少)	538	485
未払金の増減額(△は減少)	256	△64
長期未払金の増減額(△は減少)	△0	△208
その他	43	△162
小計	△1,030	△142
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△8	△10
法人税等の支払額	△25	△223
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,062	△373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172	△2,111
その他	△1	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173	△2,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600	2,000
リース債務の返済による支出	△122	△121
配当金の支払額	△86	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	391	1,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△843	△646
現金及び現金同等物の期首残高	2,196	2,526
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,353	1,879

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。